



熊谷 康之さん(76)
たみ子さん(71)
津山町・横山5区
1970(昭和45)年10月入籍

足りない部分は支え合いで

★二人のなれ初めは
★二人お見合いだね。
★お互いの第一印象は
【康之】可愛いがっだね(笑)。
【康之】可憐い話合っだね(笑)。
【康之】孫の少年野球を応援しに行くことがな。
【たみ子】今は孫の成長が何より楽しみ。ひ孫を見るまでは長生きしたいね。
★夫婦円満のコツは
【康之】お互い自分でできることは自分でやって、足りないところは支え合うこと。後は、怒られるときは黙って聞くことだね(笑)
【たみ子】マイペースに過ごして、お互い干渉しないことが一番だと思ふよ。

One's Home

ふるさとへの思い

Monthly Hot Communication

「古里の発展を願って」

昭和22年に米山町齊藤で農家の末っ子として生まれ、とても大事に育ててもらいました。
この年齢になると、親が恋しくて仕方ありません。5人きょうだいの末っ子として、とてもかわいがってもらいました。子どもの頃は、外が暗くなるまで真っ黒になりながら遊んだ記憶しかありません。今の子どもたちは、あまり外で遊んでいる姿を見ることがなく、かわいそうな気がしています。
21歳でお見合いをして、結婚。相手は4歳年上で格好良く、優しく、誰にでも好かれるような自慢の夫で、とてもすてきな人でした。まだまだ人生これからという時に、突然
及川 恒子さん(72)
東京米山会幹事
米山町(齊藤)出身
(旧姓=佐々木)



おらほの道の駅

道の駅津山
「もくもくランド」



西條駅長が勧めるササニシキやひとめぼれ、つや姫などさまざまな銘柄の津山産米を取り扱っています。

今月は、道の駅津山「もくもくランド」の西條孝一駅長にお話を伺いました。
Q「もくもくランド」の特徴などについて教えてください
「木の里」津山町名産のスギを使った木工品を多く取り扱っています。
道の駅は、旅行などのついでに立ち寄ることが多いと思いますが、もくもくランドでは、木に触れ合えるさまざまな取り組みを展開し、目的の地として親しんでもらえるような場所にしていきたいと考えています。
Qお勧め商品などを教えてください

大きい
この時期は新米が入荷し、多くの人が買い求めに訪れます。津山産の米は、出荷量は少ないですが、山間地の冷たい水を使って育てているため、甘みがあり、一粒一粒にしっかりと味が付いているのが特徴です。他の場所ではなかなか手に入らない米ですので、ぜひ一度、お買い求めください。
Qこれから開催されるイベントなどを教えてください
10月20日(日)に、もくもくランドを会場に「秋まつり」を開催します。
会場では「横山火伏の獅子



秋祭りでは新米を使ったつきたての餅を堪能できます

舞「や」つやま打囃子」などの催しのほか、無料で木のストラップやこま絵付けなどの木工体験ができます。秋に旬を迎える採れたての野菜を販売しますので、ぜひ皆さんでお越しください。
【問い合わせ】道の駅津山「もくもくランド」
0225(69)2341

まちの文芸
短歌

作品募集!
●11月号は俳句・川柳です。住所・氏名・電話番号を記入し、9月30日(月)までご応募ください。作品・氏名には全てふりがなを振ってください。
●応募者多数の場合選考して掲載します。

リフォームにて実家新鮮に笑みこぼれ
ただただ真面目な義弟に感謝
涼しさが増して弱まるせみの声
短き命知るがごとくに
あざやかに一輪咲きたる紫陽花よ
花鏡の手小さく迷う
台風の爪痕深き断崖に
天へスックとひまわり一輪
色づいていとなみ終えしわくら葉の
しばし漂う栗駒山の小沢に
菅原たろ子 (迫)
相澤 志子 (東和)
千葉 良子 (東和)
丸山 米子 (東和)
及川 慎一 (中田)

それぞれの思いあふるる言の葉を
賜りし日よわれの記念日
花巻に孫らの旅行「わんこそば」
土産は弁慶の「ほろほろ漬」なり
打ち合わせお客様と昼御飯
おいしく食べて我れ味がなし
今日もまたこの暑さとたたかかって
西空見れば色に出せないあかね空
亡き人の花を飾りし聞こゆるは
我も生きたし皆と生きたし
熊谷たかよ (中田)
千葉 源治 (中田)
千葉 洋子 (中田)
齋藤フキ子 (石越)
佐々木まき (石越)

応募総数20作品